

3つのポイントで、オフィスが変わる!(機能編)

「明快な動線がありますか。」

お店には、必ず「動線」があります。

明快な動線があるために、お客様はスムーズな流れで、陳列された商品を見ることができま。また、明快な動線は店内の混雑を避け、非常時は安全性を確保する働きもあります。

オフィスにも、仕事の効率性や人の動きをスムーズにする「動線」が必要です。

あらためてオフィスの「動線」を確認してみてください。

安全な通路を確保するための「動線」は、しっかり確保されていますか。

知らず知らずのうちに障害物などがありますか。常に意識しておく必要があります。

入居時には、適切だった「動線」も社員が増えた、あるいは、コピー機などを設置したことで、微妙に変化しています。

「地震対策は大丈夫ですか。」

平成 23 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災は、私たちの脳裏に深く刻まれています。この大震災は、14 時 46 分に発生したため、オフィス内で遭遇した方も多かったはず。日ごろの地震対策は、十分に活かされたでしょうか。

デスクトップのパソコンやコピー機、あるいは収納家具は倒れなかったでしょうか。

固定方法や配置の見直しをするだけでも防げた被害もあったはず。

再度、見直しをしてみてもいいでしょうか？

「オフィスは「安全」ですか。」

人の出入りが自由なビルがあります。日中は「女性社員のみ」というオフィスも多いのではないのでしょうか。オフィスの「安全」を考えたセキュリティは大丈夫ですか。

入口に自動施錠のカギを設置する、あるいは、緊急時に対応できる防犯用品を準備するなど、最低限の「安全」配慮はできていますか。オフィスにおける安全確保は、タダではないのです。

3つのポイントで、オフィスが変わる!(うるおい編)

「オフィスの彩(いろどり)はいかがですか。」

レイアウトを工夫すれば、快適なオフィスはつくれますが、さらに + α の工夫で、より快適なオフィスをつくることができます。

そこで、オフィスにカラーデザインを取り入れてはいかがでしょうか。

「赤」は心を活発にする色彩です。「青」は心を落ち着かせる効果がある色彩です。「オレンジ」は快活・陽気・楽しさ。「緑」は、安心感や癒しを与える効果があります。会議室の基調色を「赤」にすれば、活発な意見が交わされる会議になるでしょう。

各部屋の用途にあわせて、パーティションや床、オフィス家具の色彩を変えることで、メリハリのある、より快適なオフィスづくりができます。

「オフィスに社員が集う場所がありますか。」

社員のだれもが集う場所がオフィスには必要です。そういう場所があることで、社員にコミュニケーションが生まれます。会議をする場所、昼食の場所、なんでも良いのです。オフィスに社員が集う場所は確保されていますか。

たとえば、空いている場所に新聞・雑誌があるマガジンラックを置けば、休憩時間に自然と社員が集まる場所へと変わります。ちょっとした工夫で社員が集い、コミュニケーションが生まれます。

「花や観葉植物がありますか。」

オフィスに花や観葉植物があれば、「心が和み」ます。

会社は、利潤追求の目的集団ですから、オフィスに効率性や合理性を求めるのは当然です。しかし、物事には、適度なアクセントも必要です。オフィスにちょっとしたアクセントである花や観葉植物をおくことを考えてみてはいかがでしょうか。

社員の心に「やさしい和み」が芽生えるはず。

「やさしい和み」が、社員の心にゆとりを生み、仕事をよりスムーズにさせるはず。